
あの日の僕ら

はじめにあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの日の僕ら

【Nコード】

N8232Y

【作者名】

はじめにあ

【あらすじ】

何処にでもいる男子三人。

でもみんな違う道を歩いている。

ーその時はまだ俺たちは子供だった。

ーリンサイドー

運命ーうんめいー

僕はもうすぐ高校受験という大事な時期に入っていた。

だからといって焦ることもなく、かといって全く勉強をしないというわけでもなく、ただ…

ただ普通の生活を送っていた。

あいつに出会うまではー

僕、松本リンは中学生生活最後の行事と言ってもいい受験というものの為に塾に通っていた。

行きたい高校もなく、将来したい事も見つからず、ただ周りが勉強しているからしているだけ。

だから、勉強しているのに特別理由なんてなかった。

僕には学校に行くという行為の意味さえも分からず、ただ毎日学校に行って、帰って来てから塾に行くという行動の繰り返し。

明日は雨だと天気予報でアナウンサーが言っていた。

雨の日はもっと学校に行く気が失せる。

学校に行ってもする事は決まっている。

友達だという人達に対しては笑顔を向け続け、先生達にはいい子を演じてみせる。

という行為を三年間続ける場所としか考えていなかった。

家では2つ上の姉に毎日遊ばれる。

姉は世間でいういわゆる

「腐女子」というやつで、

姉はさらに「ヲタク」ってのを付けたしたのが姉だ。

姉はイケメンが大好きで、だから知らないけど僕の顔をよくいじる。

そして姉の影響を大きく受けて僕はそこそ顔がイイ「ヲタク」になっちゃった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8232y/>

あの日の僕ら

2011年11月24日16時47分発行